

Radabey システム概要

遠隔読影service

①撮影

撮影は各医療機関の撮影方式で構いません。

但し、DICOM画像ファイルを出力できることが必須条件となります。

②DICOMデータ出力

DICOM画像ファイルを出力し貴施設のパソコンより出力し、「Radabey専用暗号化USB」へ保存してください。「Radabey専用暗号化USB」は無料でお貸出しします。

上記の「Radabey専用暗号化USB」を、インターネットがつながっている専用パソコン(Radabey専用端末)へ接続してください。

但し、インターネット経由での操作が不可能(Radabey専用端末を外部から操作不可能)な場合は、本システムが使用できません。また、動作確認等はRadabeyが行います。

③読影依頼（データ送信）

Radabey専用端末に格納して頂いたDICOM画像ファイルから、「個人情報を消去」し、「すべてのファイルを暗号化」し、「暗号化通信」を行い、放射線専門医へ読影依頼をします。

この作業はRadabeyが行います。

④読影結果通知

放射線専門医から読影が終わり次第、速やかにRadabey専用端末へ結果を格納します。

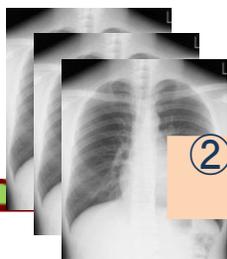
放射線専門医は、各画像の個人情報を扱うことがありません。

⑤結果の受け取り

結果（所見・判定等）を格納し次第、結果を取り出して頂いて構いません。

結果格納時の通知に関しては、メール等でも可能です。

①撮影



②DICOMデータ出力
(暗号化USB)

Radabey専用端末



読影依頼
医療機関

⑤結果の受け取り

Radabey

Radabeyが行うことは以下の通りです。

- ・各医療機関の専用端末の遠隔操作
- ・DICOM画像ファイルの個人情報消去
- ・DICOM画像ファイルの暗号化
- ・読影医への暗号化通信によるデータ送信

③読影依頼(データ送信)

④読影結果通知

放射線専門医による読影



基本的には、読影医が指定する読影環境(場所や読影専用装置)へデータを送信します。

読影医がご受診者様等の個人情報を見ることも、扱うこともありません。

(個人情報はその前に消去されています)